2020年を星で読む

～先の見えない「今」に
少し先の未来を照らす～



（一社）からだ学研究所　薬剤師　滝村桂子（タッキー先生）

copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

はじめに

今、コロナウィルスの蔓延で自粛要請が続く中、あなたのこころもきゅっと縮んでいませんか？
今、先の見えない「不安」を抱えているあなたに少し先の「星よみ」をお伝えすることで
2020年年末までのあなたの未来をお見せしたいと思います。

このコロナウィルスの蔓延の行動制限を受けている中で
私が獲得したものがいくつかあります。



・ぼーっとする時間
・趣味のトールペイント
・家族と過ごす時間
・5月の引っ越しの準備
・今、興味のある「学び(メディカルアストロロジー）」を深めること

ぼーっとする時間や趣味に没頭できる時間は、「過去の反省」や「根拠の無い不安」から私を遠ざけ、
「直感」や「ひらめき」を私にくれる大切な時間になりました。
家族、特に孫の成長は、ただそこに「存在してくれるだけでよい」という
私たち自身の存在意義を照らし出してくれました。
引っ越しの準備は、自分の振り返りと共に、ここまで一緒にいてくれたものや
役割を終えたものへの決別にも「感謝」の気持ちを持ち、自分の未来への「意識」を
きちんと「希望」に置きかえることができました。
そして、現実とからだの相似形（フラクタル）を探し続けてきた私は、メディカルアストロロジーを
学ぶことで、星座や惑星からのメッセージを介して、現実の問題と「からだ」の気持ちの
フラクタルからたくさんの気づきを得ることができました。
タッキー先生の進化した「からだ学的解説」をお楽しみください。

この冊子への思い

「星読みを自分の未来の味方につける」

この冊子は、今年の年末までのあなたの未来をご自身でデザインしていただくために
作成しました。星読みは「当たる」「当たらない」で判断するのではなく
「星がそう言うなら私も星と意識を合せていこう！」と思えることが大切です。
同じ苦しさはいつまでも続かない。少し先の明るい未来をイメージして
今、この現在地にいる私たちが何をするべきなのかを考えていきましょう。
今、一番あるのは「時間」。普段忙しさにかまけて積み残してきたことを
今こそ、しっかり感じ、考えてエネルギーを整えていく時期だと思います。
どうぞ皆様に元気と勇気がみなぎりますように。



copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

目次

1．「土」の時代～「風」の時代へ

★「木星」にまつわる「からだの気持ち」

★「土星」にまつわる「からだの気持ち」

2．2020年主な惑星の動き「火星」「金星」「水星」

（1）≪火星≫　変革のパワーの源になる

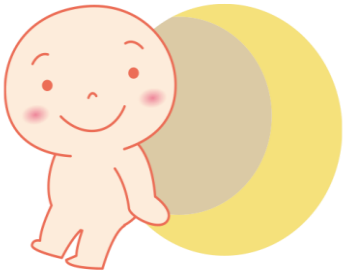
★「火星」にまつわる「からだの気持ち」

（2）≪金星≫新しい時代の愛と美を探す

★「金星」にまつわる「からだ」の気持ち

（3）≪水星≫自分の興味の先を教えてくれる

★「水星」にまつわる「からだ」の気持ち



3．大きな節目になるタイミング

（1）≪3月20日春分・24日おひつじ座新月≫新しい時代へのスタート

★「おひつじ座」にまつわる「からだ」の気持ち

（2）≪4月23日おうし座新月≫社会でのポジションや収入の改革

★「おうし座」にまつわる「からだ」の気持ち

（3）5月は、「土星」「金星」「木星」が次々と逆行に！

★「ふたご座」にまつわる「からだ」の気持ち

（4）≪6月21日夏至≫こころの奥深いところでの新たな意識の目覚め

★「かに座」にまつわる「からだ」の気持ち

（5）７月は、「土星」が「やぎ座」に入り5日に月食！

（6）８月は、1か月かけて調整期間に！

★「おとめ座」にまつわる「からだ」の気持ち

（7）≪2020年9月22日　秋分≫新たな希望に向かって進んでいく

（8）１０月は、「おひつじ座」から始まった星の世界の後半戦スタート！

★「てんびん座」にまつわる「からだ」の気持ち

（9）１１月は、私たちの本気度が試される！

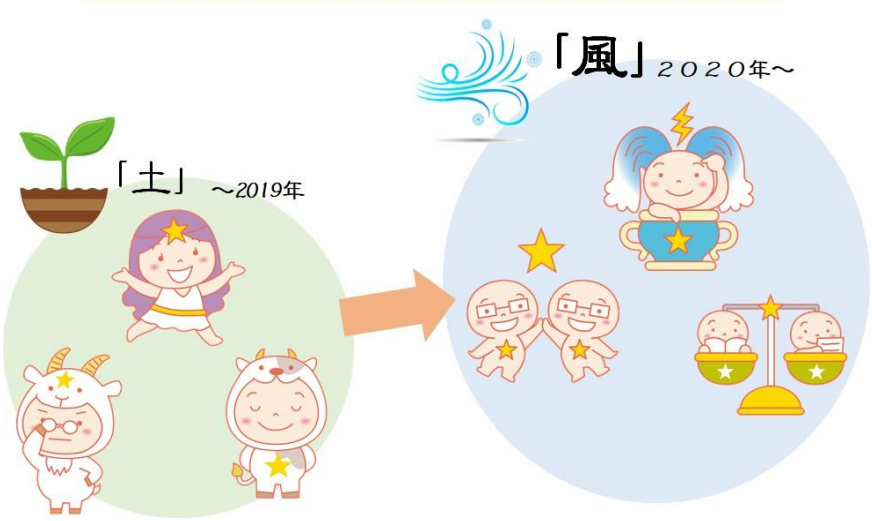
★「さそり座」にまつわる「からだ」の気持ち

（１０）≪2020年12月21日冬至≫本当の意味での変革の到来

★「みずがめ座」にまつわる「からだ」の気持ち

copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

1．「土」の時代から「風」の時代へ



惑星の中でも「土星」と「木星」の位置はその時代の背景を読むのに最適です。

土星は神々の祖父「クロノス」＝古き王様
木星はクロノスの息子「ゼウス」＝希望と光の象徴・新しい王様
木星と土星はおよそ20年に一度同じ星座に滞在し
新旧交代、社会の大きな変化を表すタイミングとなります。
（これをグレートコンジャンクションと言います。）

このグレートコンジャンクションが2019年12月に「やぎ座」で起こり
さらに2020年12月に次の「みずがめ座」で起こります。

つまりこの2019年の年末～2020年の年末にかけて
私たちの社会は大きな変化を余儀なくされる時代の渦の中にあるのです。

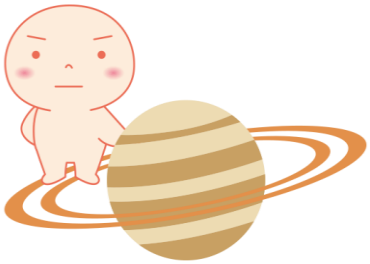
さらに2019年までの200年はグレートコンジャンクションは
「土」の星座である「おうし座」「おとめ座」「やぎ座」で起こっていましたが
2020年からの200年は「みずがめ座」「ふたご座」「てんびん座」
といった「風」の星座で起こります。

つまり今日までの200年は、**土地や物質、社会や権力**といったものが主流でしたが
これからの200年はこれまでの行き詰まりや閉塞感を打ち破るように
「風のように自由な社会」へと変わっていくのです。

人類の歴史より古いと言われるウィルスや細菌たちの反乱はこの人類との共生の中で、
いつも社会の変容の時に、浄化や変化の前触れを教えてくれるタイミングでやってきます。
大きな時代の変化にあえぐ私たちのために強制的に現れて
人類の進化を後押ししているとも言えそうです。

copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

★「土星」にまつわる「からだ」の気持ち



「土星」は私たちの骨や膝、皮膚、爪などに関係します。
慢性疾患に影響を及ぼしやすく活力の低下を招くこともあります。
慢性疾患を持っているとどんな病気も悪化しやすいですが、今年は
居心地のよい本拠地（自宅のよなもの）に居る「土星」のパワーは
コロナウィルスの感染にもその影響が出ているのかもしれません。

★「木星」にまつわる「からだ」の気持ち

「木星」は「胸腺」を支配しています。免疫部分を担当し、主要な支配部分は「肝臓」なので
「解毒」もキーワードです。この1年を通して「やぎ座」に滞在する木星は、
私たちの「社会性」に対して、免疫を発動し（必要なものと不要なものを選別すること）、
不要なものを解毒することを示唆しています。
コロナウィルスが私たちに促しているのはこの「木星」の力を発揮することかもしれません。



copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

2．2020年主な惑星の動き「火星」「金星」「水星」

（1）≪火星≫変革のパワーの源になる



・軍神「アレース」（マーズ）

・怒りや争いを象徴する星

・公転周期はおよそ2年（1星座で2ヶ月滞在）

6月28日におひつじ座に入り、2021年1月7日まで逆行＊
「火星」にとっては「おひつじ座」は自分のおうちなのでエネルギーは強まります。
ただ、ずっとこの間逆行しているので怒りが噴出しやすく、社会でも、もめごとが多い印象です。

ただ、おひつじ座＝始まり・挑戦の星座
そこで「火星」が居続けるということは大切なスタートに「火」というパワーが必要で
準備に時間がかかるということを表しています。

皆様の中で、この時代の変化にうまく取り入れて
活力にしていただけるとよいでしょう。

★「火星」にまつわる「からだの気持ち」

「火星」は私たちのヘモグロビンの中の「鉄」を支配し
酸素の働きを助け血液循環をよくします。
また、筋肉組織とその弾力性を司さどります。
つまり「火星」がどの星座にあるかでその「星座」で
起ることを活性化させ活動的にしてくれます。

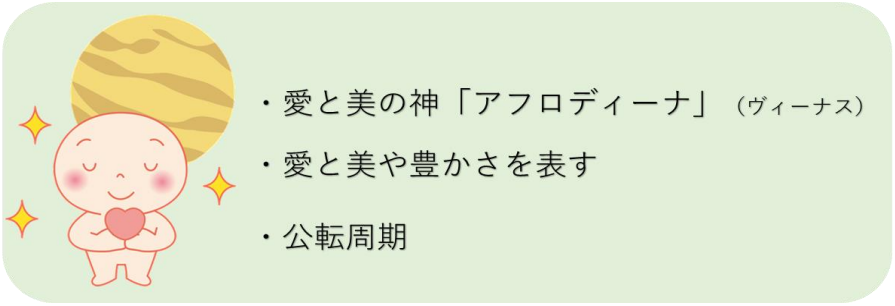
2020年は「おひつじ座」に5か月滞在するので
「おひつじ座」の「スタート」や「挑戦」のエネルギーを後押しします。



＊逆行とは一見惑星が他の惑星と逆に進行しているように見える
「見かけ上」の動き方。
　逆行の時期はその逆行している星座のエネルギーの中で、
思いだすこと、忘れ物を探すこと、再度確認を取ることなどの
意味を示します。

copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

（２）≪金星≫新しい時代の愛と美を探す



4月4日～8月8日まで「ふたご座」に滞在します。（逆行を含む）
情報やコミュニケーションを司る「ふたご座」で逆行するということは
人と関わり、集まってくる情報の中でこれからの時代を生き抜く
豊かさのヒントをもらえる暗示です。

★「金星」にまつわる「からだ」の気持ち

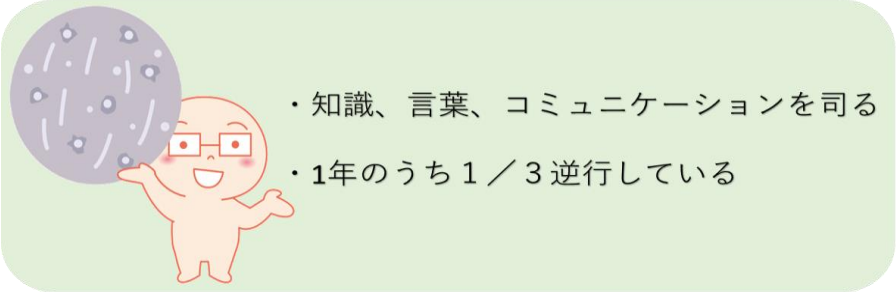
「金星」は、人間のからだの機能のバランスを司ります。
いわゆる恒常性（ホメオスターシス）を保つ役割です。ホルモンや体液の調整など「腎臓」や
女性性の臓器、子宮や卵巣などにも影響を及ぼします。

今年は4か月間と長いスパンで「ふたご座」に滞在します。
この期間は特にコミュニケーションを司る星座に居るので
人間関係の距離感、バランスが崩れた時には
女性系の疾患やむくみや耳鳴りといった腎臓の症状に気を付けましょう。



copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

（3）≪水星≫自分の興味の先を教えてくれる



1年のうち、3回ほど逆行することがあり、
2020年は2月の17日～、6月18日～、10月14日～

それぞれ約3週間逆行しています。
その間は交通網が乱れたり、他者との連絡に不具合が起きたりもしますが
行く先々の滞在する星座のエネルギーに興味を持ち、
逆行中には旧友に出逢ったり、探し物が見つかったりして。

自分の興味がどこにあるかを教えてくれます。

★「水星」にまつわる「からだ」の気持ち

「水星」は大脳を含む神経系全般や、肺や呼吸、気管・気管支と関係します。
特に今年は新型コロナウィルス感染が気になるので、
6月、10月の逆行中は気をつけておくと良いでしょう。



copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

３．大きな節目になるタイミング

（１）≪3月20日春分・２４日おひつじ座新月≫新しい時代へのスタート



春分は宇宙元旦。これからの1年の指標を示してくれます。
おひつじ座は12星座の初めに位置し、スタートを示す星座。
その春分の日は全惑星が順行でどれひとつ止めるものがない
「さあ、始まるよ！」の空気でこの1年が始まりました。
22日には形作りや社会的ルールに縛られた
「やぎ座」にずっと滞在していた「土星」が
新しいものを創りだす創造性の星座「みずがめ座」に入り、
これからの時代の空気を先読みを始めました。
新しい時代への期待が膨らむイメージでした。
☆「土星」が「やぎ座」から「みずがめ座」に移動する時
＝社会が大きく変わる時
前回「土星」が「みずがめ座」に移動したのは1991年バブル崩壊の時
☆このタイミングで「土星」「冥王星」「火星」が
重なる争いやもめごとのタイミング
安倍首相がオリンピックの延期を発表し、その後自粛要請が厳しくなりました。

★「おひつじ座」にまつわる「からだ」の気持ち

「おひつじ座」は頭部を意味すると言われています。
他には交感神経を支配していてストレスが精神的な部分に影響を及ぼし、
「意識」を司るとも言われています。
毎年宇宙元旦にはこの1年をどう過ごすか「意識」を持つことが
大切だということがわかります。

（２）≪4月23日おうし座新月≫社会でのポジションや収入の改革

この日の星の配置はあなたの社会性的な役割に大きな変化がありそうです。
「土星」が「みずがめ座」に移ったことで夏ごろまでは自身の環境に
大きな変化やお試しがやってくる可能性が大です。



おそらく今までの価値観を壊され、
全く違う世界や方向性に目を向けるタイミングが やってきます。
ここをコロナと併せて不幸と感じてしまうのはもったいない。
どんなこともその先に新しい世界が待っていることを忘れずに。
「おうし座」で起こる新月ですから
収入の改革も大いにあるかもしれません。

copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

★「おうし座」にまつわる「からだ」の気持ち

「おうし座」は「食道」を表します。
「食道」って何をするところか知っていますか？
消化器官と言いながら実は何も砕くことも消化することもありません。
では、何をするか？
これは「食べ物」が「栄養素」に砕かれて行く準備、
自分とは違う、別物になっていく道。
「覚悟の道」と私は呼んでいます。



おうし座新月が物語るように、**私たちは全く違ったものに変容していくタイミング**なのだと思われます。
皆様、ご準備よろしいでしょうか？
食道にスムーズに食べ物を運んでいくのに大切なのは**「咀嚼」**。
現実の咀嚼もイメージしながらしっかり食べ物を味わってみましょう。

（3）5月は、「土星」「金星」「木星」が次々と逆行に！

年明けから怒涛の勢いで様々なことが起こりましたが
ここで一旦、スピードは落ちるのでは？と思います。
5月23日の新月には多くの星が「ふたご座」に集まり
「さ～て、これからどうする？」
といったコミュニケーションが活発になるイメージです。



★「ふたご座」にまつわる「からだ」の気持ち

「ふたご座」は中枢神経系から神経系の情報を全身に広げます。
その一部は自律神経系でその中の「交感神経」は**行動への準備**を表します。

（4）≪6月21日夏至≫こころの奥深いところでの新たな意識の目覚め

この日は1年で最も「昼」が長い日。 この日に「かに座」で新月。さらに金環日食を迎えます。
しかも日本で観ることができる！！
いつもお話していますが日食はその日のイメージが増大されるタイミングです！
「かに座」は「家族」とか**「自分の居場所」**という意味がありますし、
そこで日食となるとこれは**「日本人の基盤」**という気もします。
「家族を守る」「日本人の絆を深める」・・・ そういった仲間意識と共に、
他者との境界線と言う意味もあります。ここは全世界の「コロナウィルスの蔓延」で
海外との交流に一線を画すという意味で、いつ、今後また違ったパンデミックが起こっても
仕方がない状況の中で日本人の**「自給率」に目を向けるタイミング**であるかもしれません。
日本人として大切なことは何か。**新たなアイデンティティ**が生まれていくことになるでしょう。

copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

★「かに座」にまつわる「からだ」の気持ち

「かに座」が表すのは「胃」。
「胃」は食べ物を砕いて砕いて砕いて砕きまくる場所。
ここにきて**私たちは何者なのかをとことん分析する時間**に充てるといいですね。

（5）７月は、「土星」が「やぎ座」に入り5日に月食！



年明けからのものすごい出来事の「続き」が始まります。
止っていた作業が再開されるイメージです。
6月に「おひつじ座」に入った火星は年明けまでそこに滞在します。
今年の後半の勝負に備える配置。
私たちに緩んではいけないとお尻をたたき続けてくれます。

（6）８月は、1か月かけて調整期間に！

愛と美の金星は「かに座」、太陽は一番活動的に動ける「しし座」。
下旬には水星が本拠地「おとめ座」に入ることで調整されます。
ここまでしゃにむに頑張ってきたところで少し周りが見えるようになるかも。

★「おとめ座」にまつわる「からだ」の気持ち

「おとめ座」は十二指腸から始まる「腸」を表します。
肝臓、胆のう、膵臓などからの様々な消化液の働き**（多様な価値観）**
を受け取りながら物ごとを消化していきます。

（7）≪2020年9月22日　秋分≫新たな希望に向かって進んでいく

春に種を撒いたら、秋には収穫です。
秋分は**春分の時に始まったことがどうなったかという**
結果を図るタイミングです。
春から様々なお試しを乗り越え、ストレスと戦いながら
そろそろ、新しい時代へ向けての準備ができていくタイミングです。
土星も木星も順行で最後の「やぎ座」のエネルギーを整えて
次の時代に向けて準備万端な配置になっています。
ゆっくりしている暇はありません。
さらに試行錯誤しながら新しい時代、 概念の世界へ進んでいくための
行動を開始してください。



copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

（８）１０月は、「おひつじ座」から始まった星の世界の後半戦スタート！

愛と美とバランスの「てんびん座」に太陽が入ります。
14日に「水星」の逆行が始まり、人との関わり方に疑心暗鬼になったり
言葉足らずが人を傷つけたり、傷つけられたりといったことも
起るかもしれませんが、月末には様々な末梢へのこだわりが取れてバランスが整いそうです。

★「てんびん座」にまつわる「からだ」の気持ち

「てんびん座」は「交感神経」を表し、「副腎皮質」と関係しています。
腎臓の上に位置する「副腎」の一部。
ここは、**からだと感情のストレスに対抗する最初の防波堤**です。
あらたな未来に向かって、自分の意識をどこに持っていくかが
「ストレス」と感じるか「希望」と思えるかの分かれ目です。
今、あなたの「意識」の向け方を問われています。

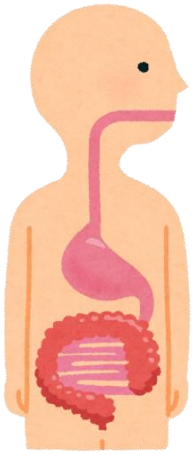


（９）１１月は、私たちの本気度が試される！

月の中旬から後半にかけて「太陽」「水星」「金星」など主要な星たちが
「さそり座」に集まります。
「さそり座」は深い洞察力、生と死を司る星座。
私たちの本気がどこにあるかをみんなで見極めていくタイミングになりそうです。

★「さそり座」にまつわる「からだ」の気持ち

「さそり座」は、「結腸」を表します。
結腸は大腸の最も広い面積を占め、小腸で吸収されなかった
消化の「残り物」を直腸に送り、大便として排泄します。



この春からあなたが立ち向かってきた多くの困難は
どのように消化できたでしょうか？
その**未消化のものをここにさらけ出す時**がやってきます。

それが何なのかをしっかり見届けましょう。
そこを自覚して初めてあなたの「本気」が見えてくるでしょう。

copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved

（１０）≪2020年12月21日冬至≫本当の意味での変革の到来

木星と土星が「みずがめ座」に移り、
「風」の星座でグレートコンジャンクションが起ったタイミングで冬至をむかえます。
この日は1年で一番「昼」が短い日。1年の成長の中で最もかがむ日です。
これから春の芽吹きに備えて様々な準備を始めるタイミングです。
ただし、主要な惑星「木星」「土星」は
既に新たな時代の中へ入り これからの新しい時代を過ごすためにあなたを誘っています。
振りかえれば、一生の中でこんなタイミングを人として迎えるなんて
なんとすごい時代を選んで生まれてきたのでしょう？！
200年に一度の大変換ですよ。私たちはずっと後に、ペストやスペイン風邪の時のように
語り草になるようなそんな冒険の時代を過ごしているのです。
「たましい」は、自分磨きをするために
詳細な計画書を立てて、「人間の世界」に生まれ落ちてくると言われます。
こんなタイミングでこの瞬間を経験すると決めて出てきた私たち。
選んでこの時代に生まれてきた私たちです。
この時代を乗り越え、創ることができる者としてここにあることを自覚しましょう。
そしてこの**1年頑張った自分をほめてあげてください。**

★「みずがめ座」にまつわる「からだ」の気持ち



「みずがめ座」は「神経」を表します。いわゆる神経またはニューロンは
全身にその電気信号と共に情報（メッセージ）を運びます。
そしてその信号は「ひらめき」「直感」といったキーワードの時に、
最も正確に素早く全身に伝達されていきます。
新しい時代こそ、私たちの肉体が持つ「五感」「直感」なるものを
AIや５Ｇといった科学技術の最先端と融合させていく必要があるのです。

さいごに

もし、これからの生活で苦しいことがあったら
もし、今、迷っていることがあったらこの冊子のどこかのページがあなたのお役に立つはずです。
いつも目の前に起っていることは「そこにその事実がある」ということだけです。
あとは、あなた次第でその状況をいくらでも色付けしていけるのです。
「星」と「からだ」からのメッセージであなた自身の人生をいくらでも豊かにすることができます。
皆様に幸せが降り注ぎますように。

発行元：一般社団法人　からだ学研究所
執筆：代表理事　滝村桂子
一般社団法人からだ学研究所HP:http://karadagaku.jp/
タッキー先生公式HP:http://tackeysensei.com/

copyright(c)一般社団法人からだ学研究所 All Right Reserved